

# 香港ニュース

2019年1月号

◆広東省・香港・マカオが協働する一大経済圏  
「グレーターベイエリア」形成構想について

千葉銀行 香港支店

## 《はじめに》

2018年10月29日～11月2日、香港政府の林鄭月娥（キャリー・ラム）行政長官が初めて来日しました。来日中、河野外務大臣などの日本政府関係者との会談により経済関係強化や人的・文化的交流の拡大を訴えたほか、香港貿易発展局主催のイベント「香港ウィーク 2018 Greater Bay Area Showcase」のオープニングセレモニーへも参加し、広東省・香港・マカオにまたがる大湾区（グレートベイエリア、Greater Bay Area、以下「GBA」）構想を紹介しました。

GBA構想は、2017年7月1日に、中国政府・広東省・香港・マカオの各政府が経済協力を強化し、同地域での一大経済圏形成を目指すための『広東省・香港・マカオ協力深化による GBA 建設推進枠組み協定』の締結を契機に、中国の巨大国家戦略として動き始めました。香港では、この GBA 構想の実現に向けて、香港の強みを活用できるチャンスになるとの期待が寄せられており、中国のもう1つの巨大国家戦略「一帯一路※」構想とともに注目を集めています。

※中国の習近平国家主席が2013年に提唱した「中国と欧州を結ぶ広域経済圏構想」。陸路で中央アジアを経て欧州に続く「シルクロード経済ベルト」を「一帯」、南シナ海からインド洋を通り欧州へ向かう「21世紀の海上シルクロード」を「一路」と呼びます。

今回のレポートでは、GBA構想の概要、および香港経済への影響等について、お伝えいたします。

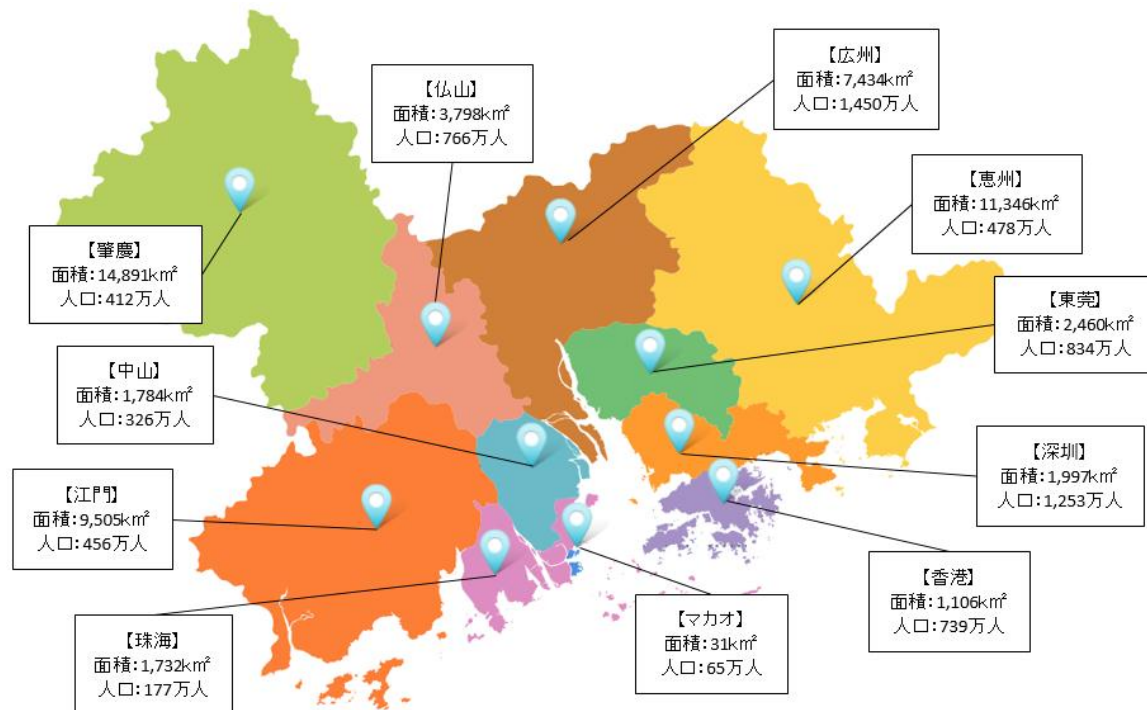


2017年7月1日、中国政府・広東省・香港・マカオの各政府代表者による『広東省・香港・マカオ協力深化による GBA 建設推進枠組み協定』調印式の様子（出所：香港政府「Greater Bay Area」ホームページ）

## 《 GBA 構想の概要 》

GBA は、広東省珠江デルタ地域の 9 つの都市（こうしゅう しんせん とんがん ぶつざん けいしゅう 広州、深圳、東莞、仏山、惠州、こうもん ちょうけい ちゅうざん じゅはい 江門、肇慶、中山、珠海）と、香港及びマカオ特別行政区から構成される都市圏です。

### 【GBA 地図（人口は 2017 年末時点）】



(出所：香港政府「Greater Bay Area」ホームページから筆者追記)

GBA 全体の面積は約 56,100 km<sup>2</sup>、人口は約 6,900 万人、GDP 規模は約 1.5 兆米ドル（2017 年、約 165 兆円）で、中国全体の GDP の約 8 分の 1 を占めます。

中国政府は、「GBA を、世界クラスのベイエリアと渡り合える経済規模に築き上げ、2030 年までに GDP 規模で東京・ニューヨークを追い越し、世界一のベイエリアにする」との目標を掲げています。

### 【GBA と世界 3 大ベイエリア比較】 ※ベイエリア：Bay Area (BA)

	GBA	東京 BA	ニューヨーク BA	サンフランシスコ BA
面積 (km <sup>2</sup> )	56,100	36,900	21,500	17,900
GDP (米ドル)	1.5 兆	1.6 兆	1.6 兆	0.7 兆
人口 (百万人)	69	44	20	8

(出所：香港政府「INNOVATION HONG KONG」(2018 年 7 月発刊))

## 《 協力目標及び協力分野 》

2017年7月1日に締結された『広東省・香港・マカオ協力深化による GBA 建設推進枠組み協定』によると、各地域に対し、既存の強みを踏まえた目標が定められています。広東省は科学技術や先端製造業、現代サービス※、香港は金融、貿易、法務や教育などの専門サービス、マカオは観光・レジャーといった分野を中心とした発展を促進することを目標としています。

※情報技術、科学技術などの専門的なサービス

### 【各地域が掲げる協力目標】

広東省	・科学イノベーションセンター及び先端製造業、現代サービス業基地の構築
香港	・国際金融・運送・貿易の三大センターとしての地位強化 ・オフショア人民元取引及び資産管理の国際センターとしての役割強化 ・専門サービス及びイノベーション・科学技術事業の発展を推進 ・アジア太平洋地域における国際法律・紛争解決サービスセンターの構築
マカオ	・世界的観光レジャーセンターとしての発展 ・中国・ポルトガル語圏国家との経済貿易協力拠点の確立

(出所) 広東省・香港・マカオ協力深化による GBA 建設推進枠組み協定

上記目標を達成するために、枠組み協定には各地域が重点的に相互協力する項目が記載されています。主な項目として、①インフラ連結の推進、②「香港・深圳・イノベーション&テクノロジーパーク」などの協力プラットフォームの建設支援、③香港と中国との間の自由貿易協定である CEPA (Closer Economic Partnership Arrangement、経済・貿易関係緊密化協定) などに基づく市場一体化レベルの向上、などが挙げられています。

## 《 GBA 構想におけるインフラプロジェクト 》

GBA は域内主要都市を結ぶ一連の交通インフラを整備し、域内を 1 時間程度で結ぶことを目標に掲げています。

2018 年には、香港と中国本土を結ぶ高速鉄道『広深港高鉄』と、香港－マカオ－珠海を結ぶ海上橋『港珠澳大橋』が開通しました。

広深港高鉄の開通によって、約 2 時間を要していた香港－広州間の移動が最短 48 分へと大幅に短縮されました。また、港珠澳大橋の開通によって、陸路で約 4 時間を要していた香港国際空港－珠海間が 45 分へと大幅に短縮され、3 地域間のアクセス向上が物流や観光業、産業の発展を促進するとみられています。

他にも広州・東莞を繋ぐ「虎門二橋・三橋」(2019 年上半期開通予定) や、深圳と中山を海上橋により結ぶ高速道路「深中通道」(2024 年開通予定) などの大規模インフラプロジェクトが進んでいます。

## 【GBAにおける大規模インフラプロジェクト分布】



(出所：在香港日本国総領事館ホームページ)

### 《 GBA 構想における香港の役割 》

GBA 構想において香港に求められている役割は、その強みである金融、運送、貿易などの面において、GBA と世界の架け橋となることです。そのため、香港は今後、アジアの金融・ビジネスセンターとして、人民元オフショア市場の中心としての優位性を更に高め、GBA 構想に関連するプロジェクトの資金調達をサポートしていくことが期待されています。

さらに、香港はイノベーション・科学技術事業発展の推進ハブとしての役割も求められています。香港政府の林鄭月娥行政長官は、2017 年施政方針演説において、「2022 年までに GDP に占める科学技術分野の研究開発 (R&D) 支出の割合を 1.5% まで倍増させる計画」を発表しました。

また、香港に隣接する深圳も、中国側におけるイノベーション推進のハブを形成していくことが期待されています。深圳には、騰訊 (テンセント) や華為 (ファーウェイ) などの大手 IT 企業のほか、多くの企業がイノベーション活動を盛んに行っており「ハードウェアのシリコンバレー」と呼ばれています。

現在、香港と深圳では、多くの協働プロジェクトが進んでいます。代表的なものが「香港・深圳・イノベーション&テクノロジーパーク」で、香港と深圳間の出入境検問所の 1 つで、検問所に隣接する面積約 870,000 m<sup>2</sup> の用地に新たなイノベーションパークを建設する計画です。当パークは、双方の資源の結合と共有によってイノベーションの相乗効果を生み出し、香港と深圳の一層の協力強化を図る場所として位置づけられています。

## 《 GBA 構想の課題 》

GBA 構想実現に向けて、インフラなどのハード面は整備されつつありますが、ソフト面の整備進捗は課題として挙げられます。例えば、広東省・香港・マカオにはそれぞれ異なる税制と法体系が存在しているため、ヒト・モノ・カネの往来が制限されています。

しかし、最近、ヒト・モノ・カネの往来を促進する動きも出始めています。香港と中国との間の自由貿易協定 CEPA では、2019 年 1 月からの適用項目が従来の 1,900 項目から 6,000 項目に拡大されました。今回の措置によって、機械や繊維製品、プラスチック製品などの香港製品が新たに中国本土のゼロ関税を享受することができるようになりました。また、CEPA のサービス貿易協定に、法律サービスと検査測定・認証サービスの 2 項目が加わりました。

今後、各政府間の調整がさらに進み、ヒト・モノ・カネが円滑に往来できるような体制構築が期待されています。

## 《 おわりに 》

2019 年 1 月時点、GBA 構想の詳細な発展計画は明らかとなっていませんが、GBA 構想による広東省、香港、マカオの経済連携は、香港経済の成長を支える推進力になると考えられます。

GBA 構想実現に向けて整備しなければならない課題はありますが、それらを解決すれば各地域の強みを生かした取組みが活性化することが予想されます。今後、GBA が世界一のベイエリアになることができるか、その動向が注目されます。

千葉銀行香港支店では、千葉県企業の香港・中国華南地区への進出等を全面的にサポートしております。現地法人設立の手続きや、オフィス・工場物件の紹介、税制等の情報等、幅広いサービスを提供させて頂いております。また、実績豊富な中国進出のためのコンサルタントを紹介することも出来ますので、弊行お取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

※ ここに掲載されているデータや資料は、情報提供のみを目的としたもので、投資勧誘等を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

※ また、弊行は、かかる情報の正確性や妥当性については、責任を負うものではありません。